

葛巻町省エネルギービジョン 後期推進計画



くずまきの環境は未来の子どもたちへの贈りもの

平成22年3月

葛巻町

《 目 次 》

第1	葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画の基本的な考え方	1
1	後期推進計画の趣旨	1
2	計画の性格	1
3	計画期間	1
4	葛巻町省エネルギービジョン基本方針	2
5	葛巻町省エネルギービジョン基本理念	2
第2	前期推進計画の評価	3
1	重点プロジェクトの評価	3
2	町民アンケート結果	10
第3	後期推進計画	12
1	重点プロジェクトの選定	12
2	重点プロジェクトの推進	12
(1)	省エネルギー普及啓発プロジェクト	13
(2)	葛巻町役場庁舎省エネルギープロジェクト	14
(3)	小・中学校省エネルギープロジェクト	15
(4)	第3セクター省エネルギープロジェクト	16
(5)	畜産農家省エネルギープロジェクト	17
(6)	個人住宅省エネルギープロジェクト	18
(7)	森林資源活用プロジェクト	20
第4	省エネルギー推進の展開	21
資 料 編		22

第1 葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画の基本的な考え方

1 後期推進計画の趣旨

私たちが住む地球は、世界規模の環境問題に直面しています。大量生産・大量消費・大量廃棄により生活様式は向上し、大いに経済発展をしてきました。このことに伴い地球温暖化や公害など環境問題が発生し、環境保全の重要性が取り上げられています。

このようなことから、本町では平成10年度に「葛巻町新エネルギービジョン」を策定し、「天と地と人のめぐみを生かして」というビジョンの理念は具体化され、風力発電、太陽光発電、畜ふん・木質バイオマスエネルギー等設備導入を進めてきました。

また、平成15年度には「葛巻町省エネルギービジョン」を策定し、新エネルギー・省エネルギーを両輪とした「くずまきエネルギービジョン」の構築につなげ、エネルギー需給の相乗的な効果を実現し、町民や事業者、行政が共通の認識を持ち一体となった行動を推進してきました。

こうした中、葛巻町省エネルギービジョンで定めた前期推進期間が平成20年度で終了したことから、これまで推進してきた重点プロジェクトを評価・検証し、今後の省エネルギー行動をより促進するため、葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画を策定するものとします。

2 計画の性格

- (1) 後期推進計画は、葛巻町省エネルギービジョンに基づいて策定されるものであり、長期的かつ総合的視野に立って、省エネルギーの取り組みの基本方向を具体的に定めるものです。
- (2) 後期推進計画は、町民の意向を反映した自主的計画であり、町の省エネルギーの取り組みの基本になるものです。
- (3) 住民や地域団体等に対しては、後期推進計画について理解と協力を求めるとともに、自主的な活動を展開する上での指針となるものです。

3 計画期間

後期推進計画は、平成21年度から平成25年度までの5カ年計画とします。

省エネルギー推進期間									
前期（平成16～20年度）					後期（平成21～25年）				
H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25

※平成21年度は、前期の評価及び後期推進計画の策定年度

4 葛巻町省エネルギービジョン基本方針

くずまきまちの環境は未来の子どもたちへの贈りもの

(1) 空気を汚さない

風力発電の増設、森林資源の活用、メタン・硝酸態窒素・アンモニア揮散問題、省エネルギーなどに取り組む。

(2) 水を汚さない

森林資源・水資源の保全、家畜排せつ物の適正管理、省エネルギーなどをすすめ、環境を守り育てる。

(3) 食料の自給率を向上する

酪農製品をベースに、豊かな食生活と健康で安心して暮らせる町を目指す

(4) エネルギーの自給率を向上する

豊かな地域資源を宝に変えて、日本一の新エネルギー・省エネルギーの里を目指し、国内外に発信し交流する。

5 葛巻町省エネルギービジョン基本理念

～「天と地と人のめぐみ」を育て～

<天のめぐみ>

近年、化石燃料の使用などによる地球の温暖化が大きな問題となっています。

私たちは地球環境の保全をはかるため、生活の中で自然の光や風などの「天のめぐみ」を育て、省エネルギーをすすめます。

<地のめぐみ>

海外に多くを依存しているエネルギーの消費量は毎年増加しています。

私たちは安定したエネルギーの確保のため、身近な森林や川などの「地のめぐみ」を育て、省エネルギーをすすめます。

<人のめぐみ>

エネルギーの使い方は、私たちの毎日の生活に深く関係しています。

私たちは持続可能な地域社会のため、郷土を愛する「人のめぐみ」を育て、省エネルギーをすすめます。

第2 前期推進計画の評価

1 重点プロジェクトの評価

本町では、省エネルギー行動を町民一人ひとりの生活や活動に深く根ざし、普及するため、7つの重点項目を掲げて全町の省エネルギー化に努めてきました。

(1) 省エネルギー普及啓発プロジェクト

【評価】

町の広報や役場ホームページを活用した情報提供や環境副読本の配布、各種イベントにおいて環境ブースを設置するなど、町民への普及啓発に努めました。

また、行政や事業者、住民が連携して対策を協議し、協力して地球温暖化対策に取り組む組織として「くずまき環境パートナーシップなあす」がその中心的役割を担っており、省エネルギー行動に対する町民の一定の理解が深まっています。

【課題】

町民が省エネルギー行動を身近に感じてもらえるよう、町内のエネルギー事情や、省エネルギー活動の取り組み方法等を定期的に情報発信していく必要があります。

取組内容

○地球温暖化対策

- ・くずまき環境パートナーシップなあす
100万人のキャンドルナイト
環境講演会 等

○情報提供

- ・環境副読本『くずまきの環境は未来の子どもたちへの贈りもの』の配布（H16）
- ・広報、HP、生涯学習カレンダー等の活用による情報提供
- ・町民まつり等への環境ブースの設置

○関連教育

- ・小学校等への環境教育等の実施（全30回）

○経済的支援

- ・新エネルギー等導入事業費補助金の交付
平成16年度：14件 808,750円
平成17年度：19件 1,838,800円
平成18年度：18件 1,680,000円
平成19年度：18件 1,333,097円
平成20年度：34件 3,768,879円



補助金を利用して設置された太陽光発電

(2) 役場庁舎の省エネルギープロジェクト

【評価】

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき「葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画」を策定し、各課に配置している推進リーダーを中心に温室効果ガスの削減に努め、*平成11年度比で約31.5%の温室効果ガスの削減を図りました。

また、「省エネ測定装置」を設置し、役場庁舎内の電力使用量の把握に努め、電力使用量は年々減少傾向にあります。

※平成10年10月に制定された地球温暖化対策推進法の施行（平成11年4月）に伴い、町では自ら出す温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画を策定し、平成18年度から平成22年度までに平成11年度比で26.1%削減することを目標としています。

【課題】

町民のモデルになるよう、職員の意識向上を図りながら、引き続き庁舎内等の省エネルギー化に取り組む必要があります。

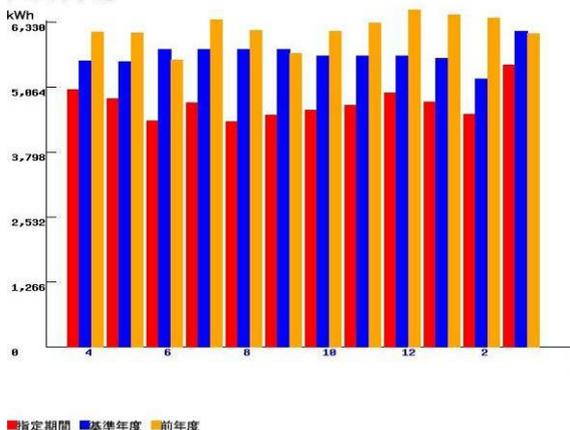
○温室効果ガスの抑制等に関する項目別実績

		平成11年度実績			平成16年度実績			平成17年度実績			平成18年度実績			平成19年度実績			平成20年度実績		
		使用量	係数	排出量(kg)	使用量	係数	排出量(kg)	使用量	係数	排出量(kg)	使用量	係数	排出量(kg)	使用量	係数	排出量(kg)	使用量	係数	排出量(kg)
燃料費	灯油(L)	217,848.0	2.510	546,798.5	176,664.0 (81.1%)		443,426.6	100,074.0 (45.9%)		251,185.7	83,183.0 (38.2%)		208,789.3	84,380.0 (38.7%)		211,793.8	70,454.0 (32.3%)		176,839.5
	重油(L)	363,660.0	2.770	1,076,433.6	184,035.0 (50.6%)		509,777.0	167,623.0 (46.1%)		464,315.7	149,560.0 (41.1%)		414,281.2	202,729.0 (55.7%)		561,559.3	182,676.0 (50.2%)		506,012.5
	ガソリン(L)	18,186.0	2.310	42,009.7	23,054.3 (126.8%)		53,255.4	22,526.8 (123.9%)		52,036.9	23,783.2 (130.8%)		54,939.2	23,416.4 (128.8%)		54,091.9	23,552.6 (129.5%)		54,406.5
	軽油(L)	58,164.0	2.640	147,227.5	59,533.7 (102.4%)		157,169.0	57,491.2 (98.8%)		151,776.8	51,862.1 (89.2%)		136,915.9	54,865.6 (94.3%)		144,845.2	56,029.5 (96.3%)		147,917.9
高熱費	電気(kWh)	1,791,902.0	0.357	639,709.0	2,177,283.0 (121.5%)		777,290.0	2,231,975.0 (124.6%)		796,815.1	2,080,224.0 (116.1%)		742,640.0	2,107,139.0 (117.6%)		752,248.6	2,224,525.0 (124.1%)		794,155.4
	LPG(kg)	4,536.6	3.050	13,836.7	3,814.0 (84.1%)		11,632.7	3,475.9 (76.6%)		10,601.5	3,320.3 (73.2%)		10,126.9	3,108.5 (68.5%)		9,480.9	3,305.0 (72.9%)		10,080.3
合計				2,466,015.0			1,952,550.7 (79.2%)			1,726,731.7 (70.0%)			1,567,692.5 (63.6%)			1,734,019.7 (70.3%)			1,689,412.1 (68.5%)
年度別削減実績(%)							20.8%			30.0%			36.4%			29.7%			31.5%

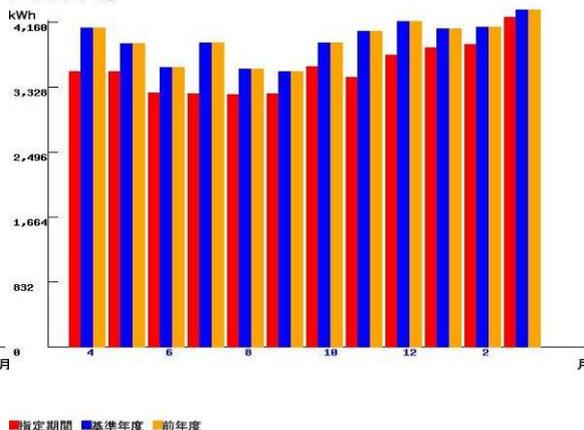
※()内は平成11年度比

○役場庁舎「省エネ測定装置」測定結果 (左:庁舎1階 右:庁舎2階)

設定項目
 期間種別:1年度
 期間:2008年度
 エネルギー種別:電力消費量
 単位:電力消費量kWh
 ナビタイプ:ナビ1



設定項目
 期間種別:1年度
 期間:2008年度
 エネルギー種別:電力消費量
 単位:電力消費量kWh
 ナビタイプ:ナビ2



(3) 葛巻小学校・中学校の省エネルギープロジェクト

【評 価】

総合学習の一環として、町内エネルギー施設見学の受入や新エネルギー財団による新エネルギー教室を開催し、児童・生徒の環境教育を実施しました。

特に葛巻小学校では、「エネルギー教育実践校」(H18～H20)として、省エネルギー行動や新エネルギーなどについて地域や他校へ情報を発信するとともに交流を深めました。

また、葛巻小学校・葛巻中学校に限らず、町内全小中学校において環境・エネルギーに関する学習、取り組みが実施されています。

子ども達が環境・エネルギーに関して学んだことを学校や家庭で実践することにより、省エネルギー行動が家庭や地域にも普及されています。

【課 題】

省エネルギー活動を地域に推進する上で、子どもたちの果たす役割が非常に大きいことから、子どもたちにも積極的な省エネルギー行動が期待されます。

取 組 内 容

【葛巻小学校】

- エネルギー・省エネ集会の実施
 - ・省エネについてのプレゼンテーション、ステージ発表、講演 等
- 省エネ月間（7月・11月）の取り組み
 - ・省エネチェックカード、省エネの呼びかけ
- 長期休業中における家庭での省エネ
 - ・夏・冬休みに「省エネチャレンジカレンダー」を実施（家族への省エネの呼びかけ）
- 各学年における取り組み
 - ・各学年ごとにテーマを設け、省エネに関する意識を高めた。

【葛巻中学校】

- 省エネ出前授業（経済産業省委託授業）
 - ・地球温暖化などの「環境問題」
 - ・家庭で出来る「省エネ実践方法」
 - ・生活に役立つ「暮らしの省エネ情報」
- くずまき高原牧場のバイオマス施設の見学
- 教室の暖房や照明をこまめにON・OFFする。
- テレビ番組に学校として取り組みが取り上げられたことにより、生徒の省エネ・エコに対する意識が高まった。



省エネ集会（葛巻小学校）

(4) グリーンテージ省エネルギープロジェクト

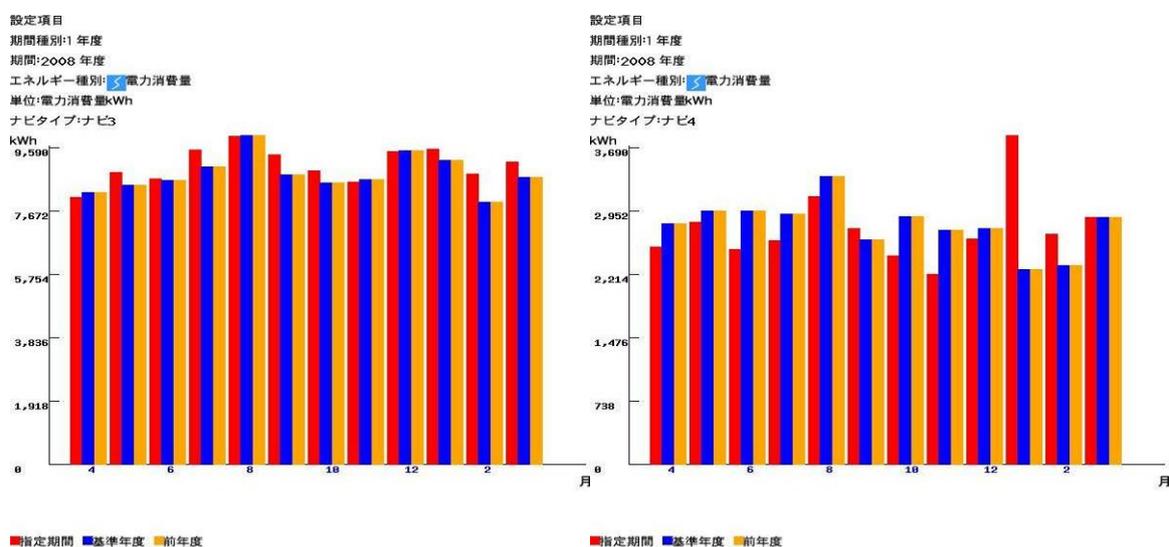
【評価】

省エネルギーモデル施設として「省エネ測定装置」を設置し、電力使用量の把握に努めました。しかし、利用者と一体となった取り組みも必要であることから、電力使用量の削減には至っていない状況にあります。

【課題】

施設利用者のサービス低下につながらないように配慮しながら、施設の省エネルギー化に取り組む必要があります。また、費用対効果等を考慮しながら、新エネルギー設備等の導入を検討していく必要があります。

○グリーンテージ「省エネ測定装置」測定結果 (左：1階 右：2階)



(5) 畜産農家省エネルギープロジェクト

【評 価】

くずまき高原牧場内に設置している「畜ふんバイオマスシステム」の実証運転を行いながら、畜産農家へ情報提供を行っていますが、システムの導入や施設維持経費がかかることから、畜産農家におけるシステム導入には至っていません。

新エネルギー設備等の導入については、牛舎に高効率エネルギー設備（エコキュート）を設置する畜産農家が見られています。

【課 題】

住宅とともに牛舎におけるエネルギー使用量を把握し、省エネルギー行動を実践していく必要があります。

また、「畜ふんバイオマスシステム」の実証運転を行いながら、畜産農家へ情報を提供するとともに、家畜ふん尿の高度利用を図る必要があります。

畜ふんバイオマスシステム概要

- 1 事業名：生産振興総合対策事業（耕畜連携・資源循環総合対策事業）
- 2 処理原料：乳牛のふん尿 13 t/日（200頭分）、生ゴミ 1 t/日
- 3 メタンガス発生量：300Nm³/日
- 4 メタン発酵槽：330m³（有効）
- 5 ガスホルダー：100m³
- 6 消化液貯留槽：1,335m³（150日分）
- 7 発酵温度：37℃（中温発酵）
- 8 エネルギー利用設備：コージェネレーション設備
 - ・発 電 37kW
 - ・熱回収量 43,000kcal
- 9 事業費：220,000千円



(6) 個別住宅省エネルギープロジェクト

【評 価】

各家庭において、省エネルギー行動を実践している世帯が増加しています。

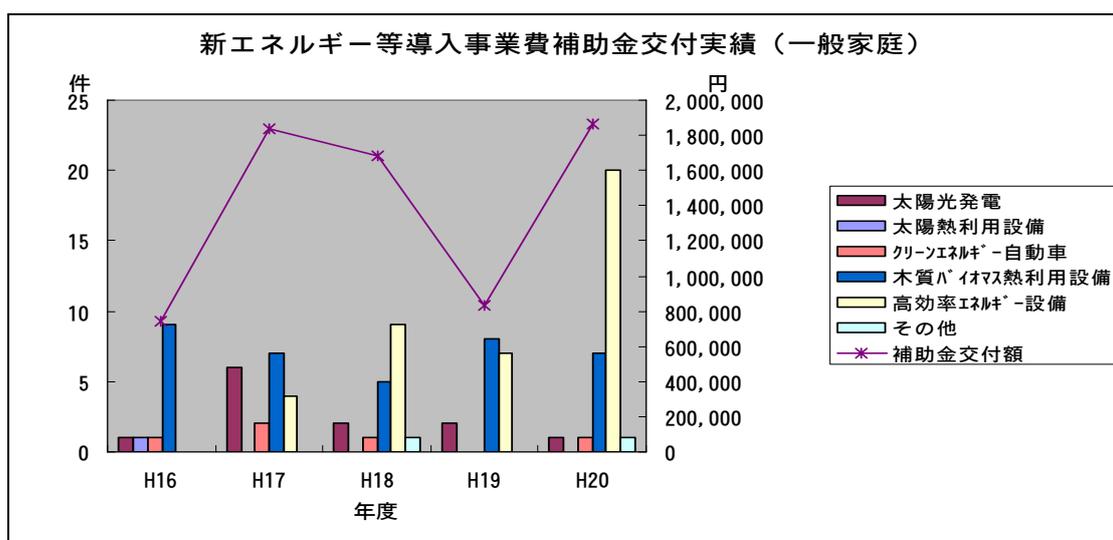
また「新エネルギー等導入事業費補助金」を活用し、一般家庭への新エネルギー設備等の導入が進んでいます。

【課 題】

大きな事業所が少ない当町においては、各家庭の取り組みが重要であることから、省エネルギー行動に関する情報を定期的に発信し、町民の省エネルギー行動に関する意識向上に努める必要があります。また、今後も新エネルギー設備等を導入する世帯が多くあることが予想されることから、引き続き「新エネルギー等導入事業費補助金」を活用し、経済的支援を継続していく必要があります。

○新エネルギー設備等導入事業費補助金交付実績（一般家庭）

	H16	H17	H18	H19	H20
補助件数（件）	12	19	18	17	30
太陽光発電	1	6	2	2	1
太陽熱利用設備	1	0	0	0	0
木質バイオマス熱利用設備	9	7	5	8	7
クリーンエネルギー自動車	1	2	1	0	1
高効率エネルギー設備	0	4	9	7	20
その他	0	0	1	0	1
補助額（円）	738,800	1,838,800	1,680,000	833,097	1,862,917



※新エネルギー導入事業費補助金交付実績のうち、一般家庭への補助のみを抜粋しています。

(7) エネルギー自給型住宅開発研究プロジェクト

【評 価】

平成 19 年度に町、(株)アトム環境工学、(株)藤島建設、葛巻町森林組合が連携し、太陽光発電や地中熱ヒートポンプ等を導入した、町産材利用のくずまき型モデルエコ住宅「ゼロエネルギー住宅」をくずまき高原牧場内に完成しました。

「ゼロエネルギー住宅」はエネルギー自給住宅の普及啓発のため一般公開していますが、町民への情報公開が少ない状況にあります。

【課 題】

「ゼロエネルギー住宅」等を活用し、エネルギー自給型住宅の費用対効果を検証し、情報発信をする必要があります。

ゼロエネルギー住宅概要

- 1 事業名：異分野新連携事業（経済産業省）
- 2 企業・団体：(株)アトム環境工学、(株)藤島建設、葛巻町森林組合
- 3 施設名称：くずまき型ゼロエネルギー住宅
- 4 住宅概要：木造 2 階建て
建築面積 56.31m²
延べ床面積 94.39m²（28.6坪）
- 5 設備概要
 - (1) 地中熱ヒートポンプ（9.5kW～10.5kW）：冷暖房
 - (2) 太陽光発電（3.36kW）：自家発電（余剰売電）
 - (3) 太陽熱温水器（2.87m²）
- 6 事業費：22,000千円



2 町民アンケート結果

(1) 町民アンケート概要

- ①目 的 葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画を策定するにあたり、町民の意見・要望等を反映させるため町民アンケートを実施しました。
- ②対 象 自治会を通じ、町内全世帯（2,884世帯）にアンケートを配布しました。
- ③回 収 数 1,479世帯からアンケートを回収しました。
- ④回 収 率 回収率は、51.3%となり、葛巻町省エネルギービジョン策定時（平成15年）に実施したアンケート回収率（36.4%）を14.9ポイント上回る結果となったことから、町民の省エネルギーに関する関心の高さが伺えます。
- ⑤実施期間 平成22年1月13日から2月3日までの期間で実施しました。

(2) アンケート結果

■回答者について

- ①性 別 回答者の性別は男性49.3%、女性45.2%でほぼ半々となりました。
- ②年 齢 60歳以上が53.1%となり、高齢者の回答が多い結果となりました。
- ③職 業 高齢者の無職が多かったことから、その他（無職）の回答が多くありました。
- ④家 族 2人家族が31.8%と最も多く、次いで3人家族、1人家族となりました。
1世帯あたりの平均人数は約2.8人と推定されます。
- ⑤エネルギー使用量把握者
冬期間のアンケートであったことから、灯油使用量の把握者が最も多く66.2%で、次いで電気使用量の59.7%となりました。
- ⑥自 動 車 約75%の家庭で自動車を保有しており、1世帯あたり1.5台の保有となりました。

■省エネルギーについて

①省エネルギーについて

葛巻町省エネルギービジョンについて認知していた方は47.2%と、約半数の認知しかされていなかったものの、省エネルギー行動を意識するようになった方は51.3%となり、以前より省エネルギー活動に対する意識の向上が見られました。

また、省エネルギーを推進するためには「家族の協力が必要」と答えた方が32.3%と最も高く次いで、「新エネ補助金の拡充」「子どもたちへの環境教育」と続きました。

②省エネルギー活動について

「部屋の電気やテレビ、冷暖房はこまめに消している」「冷蔵庫の開閉や設置場所に気を付けている」「洗濯物はまとめて洗い、シャワーの出っぱなし注意している」世帯が多く、また、その他、「コンセントからプラグを抜く」「省エネタイプの機器を購入する」などの取り

組みも見受けられました。

省エネルギー行動については、無回答世帯を除けば、全ての項目において前回のアンケート時よりも省エネルギー行動を実践している世帯が増加した結果となりました。

■新エネルギーについて

①新エネルギーについて

新エネルギーへの関心度は 66.9%となり、理由としては「地球温暖化防止」「化石燃料の枯渇」といった地球規模での環境問題に対する意識が高い人が多くいました。

今後、町の取り組みとして「家庭用太陽光発電の普及」「風力発電の増設・新設」への期待が大きい結果となりました。

②新エネルギー設備について

新エネルギー設備を導入している世帯は 7.8%で、新エネ設備の普及率は1割程度と推定されます。

新エネ設備では、木質バイオマス熱利用設備が 29.7%と最も多く、薪ストーブの利用者が多く見受けられました。

③新エネルギー等導入事業費補助金について

新エネルギー設備導入の際、新エネルギー等導入事業費補助金を活用した方は 56.9%で、活用していない方が4割程度でありました。

今後、太陽光発電や木質バイオマス熱利用設備の導入時に補助金の活用を検討している世帯が多くありました。

■意見等

「クリーンエネルギーの町」としての取り組みを評価する意見がある中、町内で生産された電力を町民に還元されていないことから、「クリーンエネルギーの町」の実感が無いという意見も寄せられました。

また、「様々な省エネルギーに向けた取り組みができるのではないか」「新たな新エネルギーの導入」「新エネルギー等導入事業費補助金の拡大」など、今後のさらなる町の取り組みに期待する意見が寄せられました。

■今後に向けて

今回のアンケートを通じ、省エネルギー行動が町民全体に浸透していることが伺えました。

しかし、新エネルギー設備の導入については、経済的な問題から導入できない世帯も多いことから、新エネルギー等導入事業費補助金等の経済的支援が求められるとともに、家族を巻き込んだ省エネルギー活動の推進が必要であります。

また、町民が「クリーンエネルギーの町」としての実感できるよう、一層の新エネルギーの推進に努め、町民に対しての適切な情報発信の必要があります。

第3 後期推進計画

1 重点プロジェクトの選定

本町全体の取り組み方向を前提としてこれまでの前期推進計画の評価等を踏まえ、重点プロジェクト及びプログラムを次のように見直します。

NO	プロジェクト名	プログラム
1	省エネルギー 普及啓発プロジェクト	地球温暖化防止対策に取り組む各種団体等の活動支援 新エネルギー・省エネルギーに関する情報提供 関連教育、経済的支援 公共施設等の省エネルギー化
2	葛巻町役場庁舎 省エネルギープロジェクト	庁舎内における省エネルギー行動の取り組み 職員の意識向上・行動 新エネルギー設備等の導入
3	小・中学校 省エネルギープロジェクト	環境教育の実施 児童・生徒・保護者の取り組み 新エネルギー設備等の導入
4	第3セクター 省エネルギープロジェクト	従業員の意識向上・行動 利用客へのPR 新エネルギー設備等の導入
5	畜産農家 省エネルギープロジェクト	バイオマス利用の普及 農作業機械の省エネルギー化
6	個人住宅 省エネルギープロジェクト	省エネルギー行動に係る情報提供 エネルギー使用量の把握 省エネルギーの基本行動項目の設定
7	森林資源活用プロジェクト	森林資源の利活用 木質バイオマス熱利用設備の導入

※「エネルギー自給型住宅開発研究プロジェクト」は、ゼロエネルギー住宅完成により削除

2 重点プロジェクトの推進

重点プロジェクトの推進にあたっては、町民が省エネルギー行動に取り組みやすくするため、プロジェクト毎にキャッチフレーズを設け、町民、事業者、行政が一体となった省エネルギー行動に努めます。

(1) 省エネルギー普及啓発プロジェクト

『クリーンエネルギーの町』を实践しよう

プログラム	推 進 内 容
地球温暖化防止 対策に取り組む 各種団体等の活 動支援	<p>【活動内容】 住民が連携して対策を協議し、地球温暖化防止対策に取り組む各種団体等の活動支援を行います。</p> <p>【支援内容】 情報提供、イベントの共催 等</p>
新エネルギー・省 エネルギーに関 する情報提供	<p>【活動内容】 広報・チラシ・役場HP等を活用し、定期的に新エネルギー及び省エネルギー行動等に関する情報提供を行います。 新エネルギー施設の案内や出前講座等の受け入れを行います。</p> <p>【情報提供】 町内電力使用量：半期毎（前期：4月～9月・後期：10月～3月） 省エネルギー行動等の紹介：2回/年（6月・2月） 新エネルギー施設の案内や出前講座等随時実施 その他（必要に応じて随時情報提供）</p>
関連教育の実施	<p>【活動内容】 教育委員会及び小・中学校等と連携し、環境教育や新エネルギー・省エネルギーに関する総合学習、出前講座等を実施します。</p> <p>【活動目標】 学校ごとに随時開催</p>
経済的支援	<p>【活動内容】 新エネルギー設備等を導入した町民や事業所等へ「新エネルギー等導入事業費補助金」を交付し、新エネルギー設備等の普及を図ります。</p> <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電：5件/年 ・太陽熱利用設備：1件/年 ・クリーンエネルギー自動車：5台/年 ・高効率エネルギー設備：15件/年 ・木質バイオマス熱利用設備：10件/年 ・その他の設備：2件/年
公共施設等の省 エネルギー化	<p>【活動内容】 費用対効果等を検討しながら、新エネルギー設備等の導入に努め、公共施設等の省エネルギー化に努めます。</p> <p>※太陽光発電、風力発電、小水力発電、バイオマス利用、温度差エネルギー利用、バイオディーゼル燃料（BDF）、LED照明の導入等</p>

(2) 葛巻町役場庁舎省エネルギープロジェクト

町民のお手本になろう

プログラム	推 進 内 容														
庁舎内における省エネルギー行動の取り組み	<p>【活動内容】 葛巻町地球温暖化防止等率先実行計画に基づき、庁舎内の省エネルギー行動を強化します。 また、引き続き「省エネ測定装置」を設置し、定期的に電力使用量の把握に努めます。 さらに、公共施設への新エネルギー設備等の導入を推進します。</p> <p>【活動目標】 温室効果ガスの総排出量：平成 11 年度比 35.0%削減</p> <p>【管理施設】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d4f1d4;">所 管 課</th> <th style="background-color: #d4f1d4;">施設・設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務企画課</td> <td>役場庁舎</td> </tr> <tr> <td>農林環境エネルギー課</td> <td>清掃センター、リサイクルセンター 最終処分場</td> </tr> <tr> <td>健康福祉課</td> <td>保健センター</td> </tr> <tr> <td>建設水道課</td> <td>葛巻クリーンセンター 四日市クリーンセンター 農村公園、水道事務所</td> </tr> <tr> <td>葛巻病院</td> <td>葛巻病院</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>小中学校、給食センター、総合センター 保育園</td> </tr> </tbody> </table>	所 管 課	施設・設備	総務企画課	役場庁舎	農林環境エネルギー課	清掃センター、リサイクルセンター 最終処分場	健康福祉課	保健センター	建設水道課	葛巻クリーンセンター 四日市クリーンセンター 農村公園、水道事務所	葛巻病院	葛巻病院	教育委員会	小中学校、給食センター、総合センター 保育園
所 管 課	施設・設備														
総務企画課	役場庁舎														
農林環境エネルギー課	清掃センター、リサイクルセンター 最終処分場														
健康福祉課	保健センター														
建設水道課	葛巻クリーンセンター 四日市クリーンセンター 農村公園、水道事務所														
葛巻病院	葛巻病院														
教育委員会	小中学校、給食センター、総合センター 保育園														
職員の意識向上・行動	<p>【活動内容】 省エネルギー行動に関する啓発活動を強化するとともに、各課に配置している推進リーダーを中心に、町民の手本となるよう職員各自が率先して省エネルギー活動を実践し、温室効果ガスの削減に取り組みます。</p>														
新エネルギー設備等の導入	<p>【活動内容】 費用対効果等を検討しながら、新エネルギー設備等の導入に努めます。 ※太陽光発電、風力発電、小水力発電、バイオマス利用、温度差エネルギー利用、バイオディーゼル燃料（BDF）、LED 照明の導入等</p>														

(3) 小・中学校省エネルギープロジェクト

一人ひとりが省エネリーダーになろう

プログラム	推 進 内 容
環境教育の実施	<p>【活動内容】 役場及び関係機関等と連携し、環境教育や新エネルギー・省エネルギーに関する総合学習、出前講座等の実施を呼びかけます。</p> <p>【活動目標】 各学校に随時開催</p>
児童・生徒・保護者の取り組み	<p>【活動内容】 子どもたちの省エネルギー行動を学校、保護者、地域に普及するため、各小中学生を『エコ・エネ大使』に任命し、各自が省エネルギー行動を実践するための研修会等を開催します。</p> <p>【活動目標】 エコ・エネ大使の任命：1名/1学年（小学校3年生以上） エコ・エネ研修会の開催：4回/年</p>
新エネルギー設備等の導入	<p>【活動内容】 各小中学校へペレットストーブ等の新エネルギー設備等の導入を推進し、環境教育の教材として活用してもらうとともに、温室効果ガスの削減を図ります。</p> <p>【活動目標】 新エネルギー設備等の設置：1台/年</p>



子どもたちの環境教育の充実を目指します

(4) 第3セクター省エネルギープロジェクト

目指せ、省エネ3兄弟

プログラム	推 進 内 容
従業員の意識向上・行動	<p>【活動内容】</p> <p>省エネルギー行動に関する啓発活動を行うとともに、省エネルギー基本行動項目と実施目標を設け施設内の省エネルギー行動に努めます。</p> <p>また、「グリーンテージ」及び「森の館ウッディ」においては、引き続き「省エネ測定装置」を設置し、定期的に電力使用量の把握に努めます。</p> <p>【省エネルギー基本行動項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① パソコン等、事務機器の省エネモードを設定する。 ② 昼食時等、席を離れる際のOA機器の電源をOFFにする。 ③ 退社時、電源ケーブルをコンセントから抜く。 ④ 明るい場所（窓際等）や人のいない場所は消灯する。 ⑤ 時間外勤務は部分点灯とする。 ⑥ 電気ポットは必要最小限の使用に努める。 ⑦ 冬期は温度20度を目途に、過度な暖房を行わない。 ⑧ ミスコピー用紙の裏面使用を徹底する。 ⑨ 形式的な添書（FAX等）は廃止する。 ⑩ 給湯設備やトイレ等での節水に努める。 <p>【実施目標】</p> <p>概ねの実施率をA（80%以上）、B（50%以上）、C（50%以下）の3段階評価とし、全ての項目においてA評価を目標とします。</p> <p>【達成状況調査】</p> <p>毎年度省エネルギー基本行動項目に関する調査を実施し、達成状況を把握します。</p>
利用客へのPR	<p>【活動内容】</p> <p>施設利用者のサービス低下につながらないように考慮しながら、省エネルギー活動に関する啓発活動を強化するとともに、従業員各自が率先して省エネルギー活動を実践するよう、啓発活動を実施します。</p>
新エネルギー設備等の導入	<p>【活動内容】</p> <p>費用対効果等を検討しながら、新エネルギー設備等の導入に努めます。</p> <p>※太陽光発電、風力発電、小水力発電、バイオマス利用、温度差エネルギー利用、バイオディーゼル燃料（BDF）、LED照明の導入等</p>

(5) 畜産農家省エネルギープロジェクト

家畜ふん尿の高度利用に努めよう

プログラム	推 進 内 容
バイオマス利用の普及	【活動内容】 くずまき高原牧場内に設置している「畜ふんバイオマスシステム」の実証運転を行いながら、酪農家へ情報提供を行うとともに、家畜ふん尿の高度利用を推進します。
農作業機械の省エネルギー化	【活動内容】 農地の集約化や農作業機械の効率的な活用により、農作業機械の省エネルギー化を推進します。



畜ふんの高度利用を推進します



農作業機械の省エネ化を推進します

(6) 個人住宅省エネルギープロジェクト

ライフスタイルを見直し、できることから始めよう

プログラム	推 進 内 容
省エネルギー行動に係る情報提供	<p>【活動内容】 広報・チラシ・役場HP等を活用し、環境月間（6月）及び省エネ月間（2月）に合わせて省エネルギー活動等に関する情報提供を行います。 また、各自治会と協力し、町民への省エネルギー行動の呼びかけを促進します。</p> <p>【情報提供】 町内電力使用量：半期毎（前期：4月～9月・後期：10月～3月） 省エネルギー行動の紹介：2回/年（6月・2月） 新エネルギー施設の案内や出前講座等随時実施 その他（必要に応じて随時情報提供）</p>
エネルギー使用量の把握	<p>【活動内容】 町民からエネルギー使用量に関するモニター調査を行い、エネルギーの使用量の把握に努めるとともに、モニター結果を基に省エネルギー行動を実践していきます。</p> <p>【モニター調査】 調査世帯：100戸（各自治会から2戸程度を選定） 募集方法：公募</p>
省エネルギーの基本行動項目の設定	<p>【活動内容】 省エネルギー基本行動項目と実施目標を設け、各家庭において省エネルギー行動を促進します。</p> <p>【活動目標】 省エネルギー基本行動項目：15項目（別表のとおり） 実施率：平均 83.7% CO2削減量：363 t-CO2/年</p> <p>【達成状況調査】 平成24年度に省エネルギー基本行動項目に関する調査を実施し、達成状況を把握します。</p>

省エネルギー基本行動項目と実施目標

NO	省エネ行動項目	CO2削減量	実績 (H21)												目標 (H24)		
			回答			実施率			CO2削減量			実施者	実施率	CO2削減量			
			はい	いいえ	未使用	はい	いいえ	未使用	はい	いいえ	はい						
1	暖房は17℃、冷房は28℃を目安に温度設定している。	25.4	789	186	189	67.8	16.0	16.2	20,040.6	4,724.4	931	80.0	23,647.4				
2	冷暖房機器は必要なつければなしをしない。	41.3	1,080	64	83	88.0	5.2	6.8	44,604.0	2,643.2	1,104	90.0	45,595.2				
3	照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯等を使用している。	38.1	696	387	92	59.2	32.9	7.8	26,517.6	14,744.7	881	75.0	33,566.1				
4	人のいない部屋の照明は、こまめに消灯している。	8.9	1,232	40	6	96.4	3.1	0.5	10,964.8	356.0	1,252	98.0	11,142.8				
5	テレビを見ないときはこまめに消している。	6.8	1,148	131	7	89.3	10.2	0.5	7,806.4	890.8	1,222	95.0	8,309.6				
6	こたつは敷布団と上掛布団を使用し、温度設定をこまめに調節している。	22.2	966	99	158	79.0	8.1	12.9	21,445.2	2,197.8	1,040	85.0	23,088.0				
7	洗い物をすするときは、給湯器の温度を出来るだけ低くしている。	20.0	818	179	217	67.4	14.7	17.9	16,360.0	3,580.0	911	75.0	18,220.0				
8	冷蔵庫内の温度は、季節に合わせて温度調節したり、物を詰め込み過ぎないようにしている。	19.9	852	354	14	69.8	29.0	1.1	16,954.8	7,044.6	915	75.0	18,208.5				
9	冷蔵庫は、壁からの適当な間隔を空けて設置している。	20.4	1,000	209	8	82.2	17.2	0.7	20,400.0	4,263.6	1,095	90.0	22,338.0				
10	冷蔵庫の開閉を少なくし、開けている時間を短くしている。	2.8	1,076	158	7	86.7	12.7	0.6	3,012.8	442.4	1,117	90.0	3,127.6				
11	洗濯するときは、まとめて洗っている。	2.7	1,218	70	5	94.2	5.4	0.4	3,288.6	189.0	1,267	98.0	3,420.9				
12	お風呂は、間隔を開けず入り、追い炊きをしないようにしている。	87.0	817	343	40	68.1	28.6	3.3	71,079.0	29,841.0	900	75.0	78,300.0				
13	シャワーを流しっぱなしにしないようにしている。	29.1	872	96	238	72.3	8.0	19.7	25,375.2	2,793.6	965	80.0	28,081.5				
14	電気製品を使わないときは、コンセントからプラグを抜くなど、待機消費電力を少なくしている。	48.7	890	356	13	70.7	28.3	1.0	43,343.0	17,337.2	944	75.0	45,972.8				
15	電気、ガス、石油機器などを購入するときは、省エネタイプのものを選んでいく。	-	829	280	57	71.1	24.0	4.9	-	-	875	75.0	-				
	合計・平均	373.3	952	197	76	77.5	16.2	6.3	331,192.0	91,048.3	1,028	83.7	363,018.4				

※CO2削減量は、財団法人省エネルギーセンター発行「家庭の省エネ大辞典」を基に算定しています。

(7) 森林資源活用プロジェクト

森林資源を見直そう

プログラム	推 進 内 容
森林資源の活用	【活動内容】 葛巻町植樹祭やトリプル薪フェスタ等のイベントを通して、森林の持つ多面的機能に対する理解を深めるとともに、薪・炭・ペレット等の森林資源のエネルギー化を推進します。 また、再造林・間伐等による森林の育成を図り、二酸化炭素の吸収を促進します。
木質バイオマス熱利用設備の導入	【活動内容】 木質バイオマス熱利用設備（ペレット・薪ストーブ等）を導入した町民や事業所等へ「新エネルギー等導入事業費補助金」を交付し、木質バイオマス熱利用設備の普及を図ります。 【活動目標】 木質バイオマス熱利用設備：10件/年

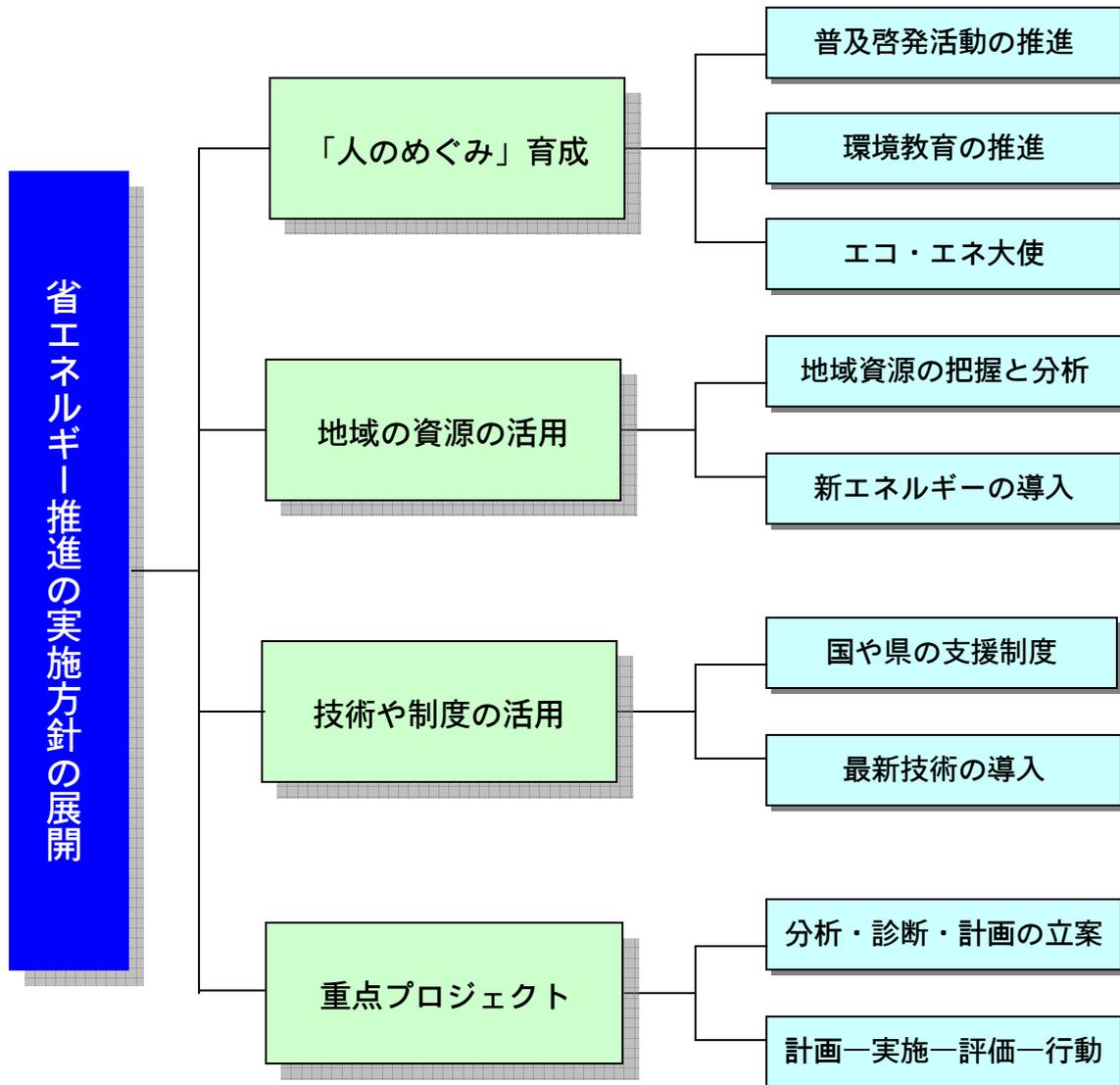


トリプル薪フェスタ（薪出し体験）



木質バイオマス熱利用設備（薪ストーブ）

第4 省エネルギー推進の展開



資 料 編

後期推進計画策定に係る町民アンケート集計結果

■アンケート対象者 2,884 世帯

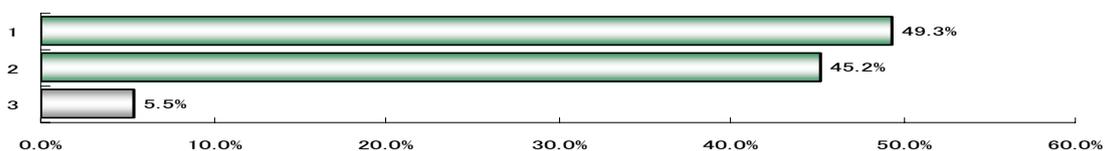
■アンケート回収者 1,479 世帯

■アンケート回収率 51.3%

■回答者について

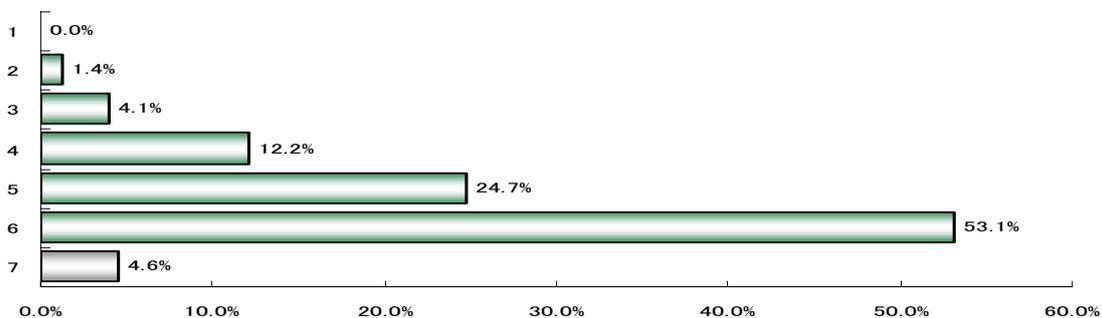
問1 あなたの性別は？

① 男性	729 人	49.3%
② 女性	669 人	45.2%
③ 無回答	81 人	5.5%



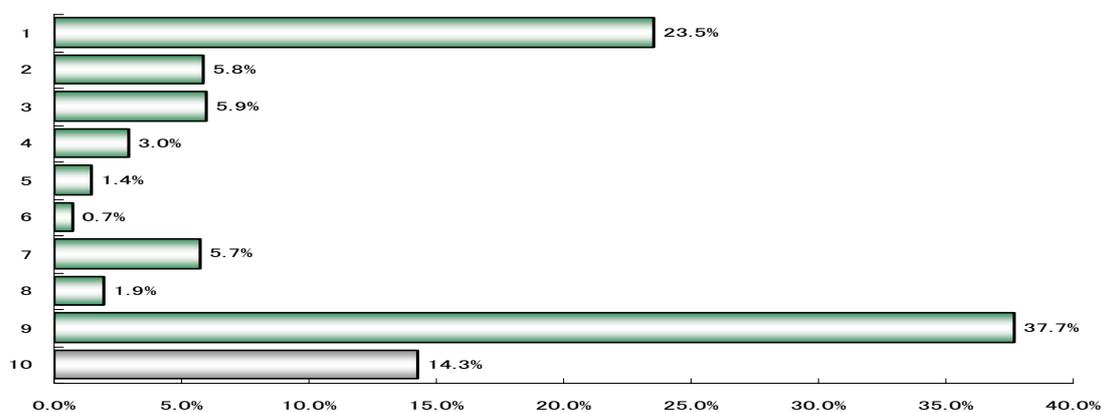
問2 あなたの年齢は？

① 20歳以下	0 人	0%
② 20歳代	20 人	1.4%
③ 30歳代	60 人	4.1%
④ 40歳代	180 人	12.2%
⑤ 50歳代	365 人	24.7%
⑥ 60歳以上	786 人	53.1%
⑦ 無回答	68 人	4.6%



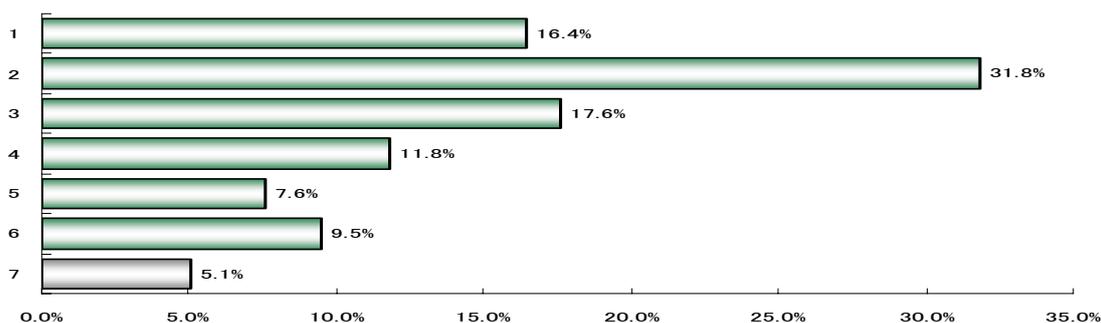
問3 あなたの職業は？

① 農林業	348人	23.5%
② 建設業	86人	5.8%
③ 製造業	88人	5.9%
④ 卸売・小売業	44人	3.0%
⑤ 運輸・通信業	21人	1.4%
⑥ 電気・ガス・水道業	11人	0.7%
⑦ サービス業	85人	5.7%
⑧ 公務員	28人	1.9%
⑨ その他	557人	37.7%
⑩ 無回答	211人	14.3%



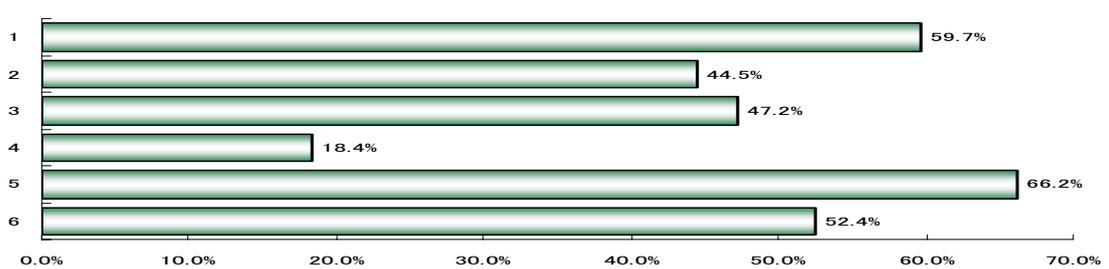
問4 あなたの家族の人数は？

① 1人	243人	16.4%
② 2人	471人	31.8%
③ 3人	261人	17.6%
④ 4人	175人	11.8%
⑤ 5人	113人	7.6%
⑥ 6人以上	141人	9.5%
⑦ 無回答	75人	5.1%



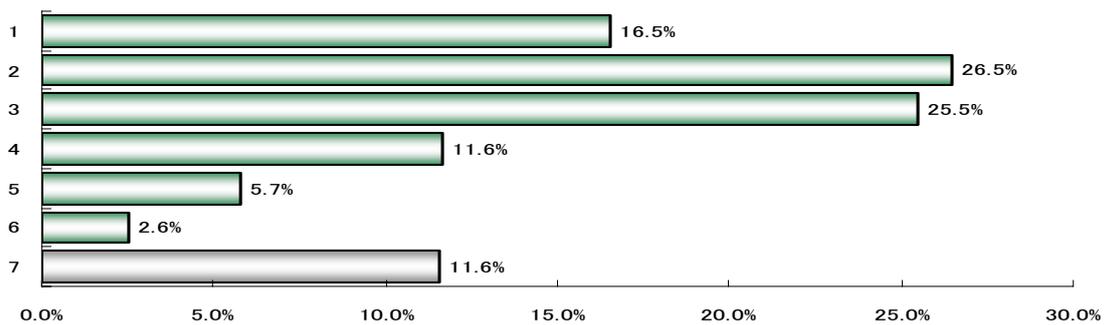
問5 あなたの家庭のエネルギー使用量はどのくらいですか？直近の1ヶ月間のエネルギー使用量をご記入ください。(人数は、使用量把握人数)

① 電 気	817 人	59.7%
② LPガス	609 人	44.5%
③ ガソリン	646 人	47.2%
④ 軽 油	252 人	18.4%
⑤ 灯 油	905 人	66.2%
⑥ 水 道	717 人	52.4%



問6 あなたの家の車の所有台数は何台ですか？

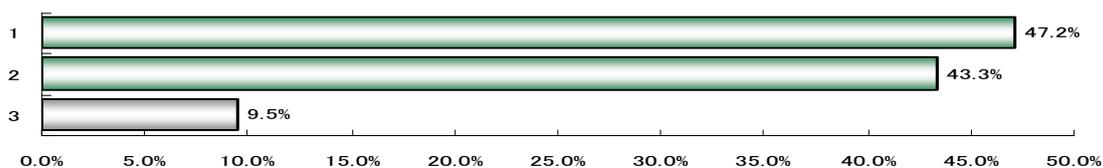
① 0 台	244 人	16.5%
② 1 台	392 人	26.5%
③ 2 台	377 人	25.5%
④ 3 台	172 人	11.6%
⑤ 4 台	85 人	5.7%
⑥ 5 台以上	38 人	2.6%
⑦ 無回答	171 人	11.6%



■ 省エネルギーについて

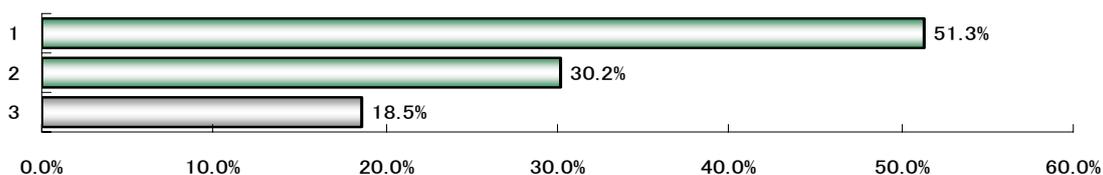
問7 あなたは、平成15年度に「葛巻町省エネルギービジョン」を策定していたことを知っていましたか？

① はい	698人	47.2%
② いいえ	641人	43.3%
③ 無回答	140人	9.5%



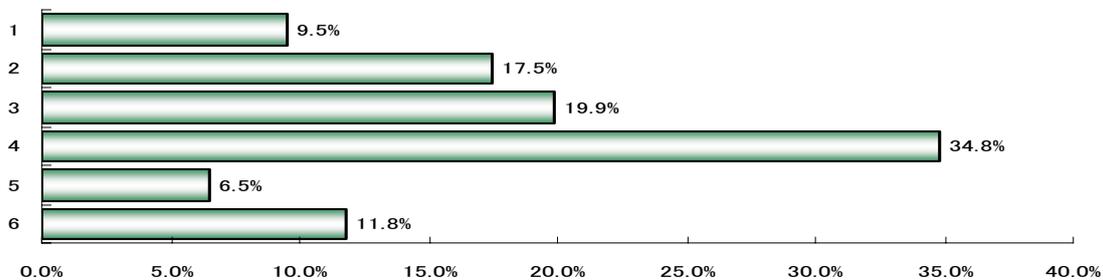
問8 「葛巻町省エネルギービジョン」策定後5年間で、省エネ活動を意識するようになりましたか？

① はい	759人	51.3%
② いいえ	446人	30.2%
③ 無回答	274人	18.5%



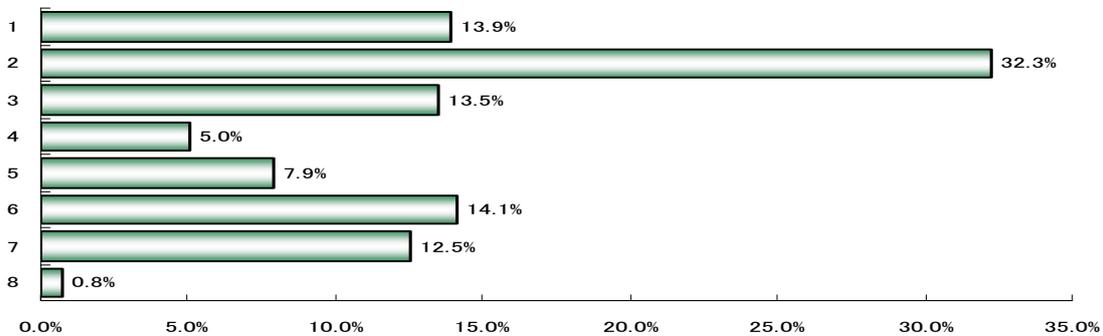
問9 あなたの家庭で、省エネ活動に一番熱心な方はどなたですか？（複数回答）

① おじいさん	119人	9.5%
② おばあさん	219人	17.5%
③ お父さん	249人	19.9%
④ お母さん	437人	34.8%
⑤ 子ども	82人	6.5%
⑥ その他	148人	11.8%



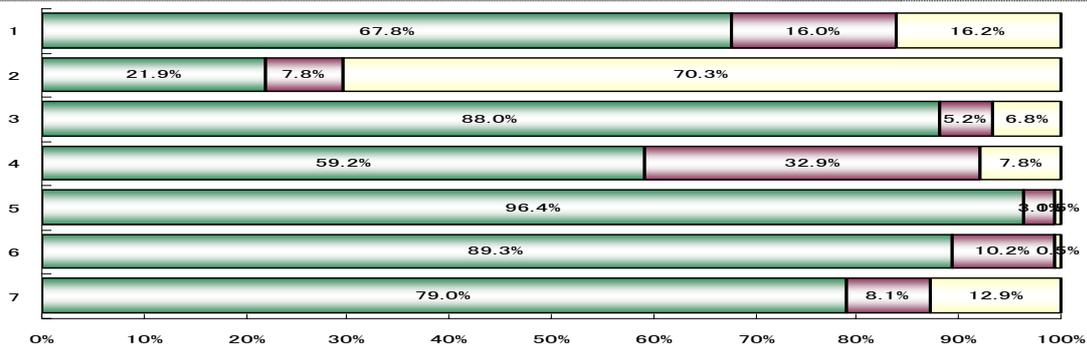
問 10 省エネ活動を推進するために必要なことは何だと思いますか？（複数回答）

① 子どもたちへの環境教育	356 人	13.9%
② 家族の協力	825 人	32.3%
③ 省エネルギーに関する町民への情報発信	344 人	13.5%
④ 新エネ・省エネに関する人材や技術者の育成	129 人	5.0%
⑤ 公共施設等への新エネ・省エネ設備の導入	201 人	7.9%
⑥ 町単の「新エネ補助金」の継続・拡充	361 人	14.1%
⑦ 国レベルでの、経済的に成り立つ仕組みづくり	320 人	12.5%
⑧ その他	20 人	0.8%



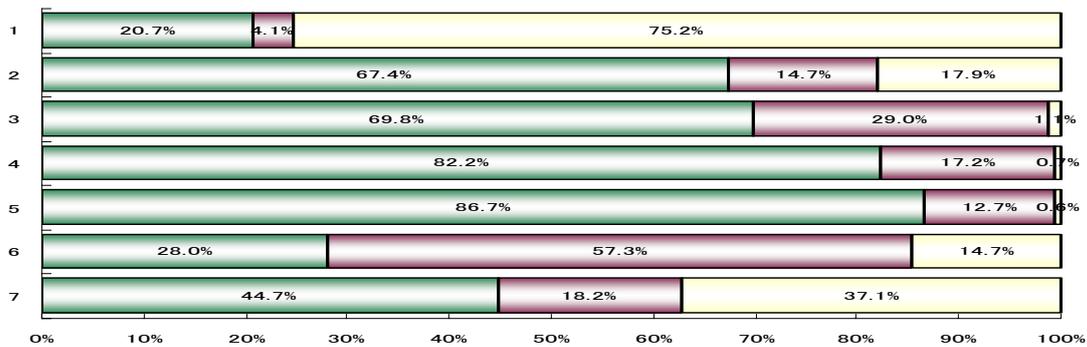
問 11 居間（リビング）では、どのような省エネ活動をしていますか？

	はい	いいえ	未使用
① 暖房は 20℃、冷房は 28℃を目安に温度設定している。	789 人 67.8%	186 人 16.0%	189 人 16.2%
② 電気カーペットは部屋の広さにあったものを選び温度設定をこまめに調節している。	245 人 21.9%	87 人 7.8%	786 人 70.3%
③ 冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしない。	1,080 人 88.0%	64 人 5.2%	83 人 6.8%
④ 照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光ランプ等を使用している。	696 人 59.2%	387 人 32.9%	92 人 7.8%
⑤ 人のいない部屋の照明は、こまめに消灯している。	1,232 人 96.4%	40 人 3.1%	6 人 0.5%
⑥ テレビを見ないときはこまめに消している。	1,148 人 89.3%	131 人 10.2%	7 人 0.5%
⑦ こたつは敷布団と上掛布団を使用し、温度設定をこまめに調節している。	966 人 79.0%	99 人 8.1%	158 人 12.9%
⑧ その他	44 人		



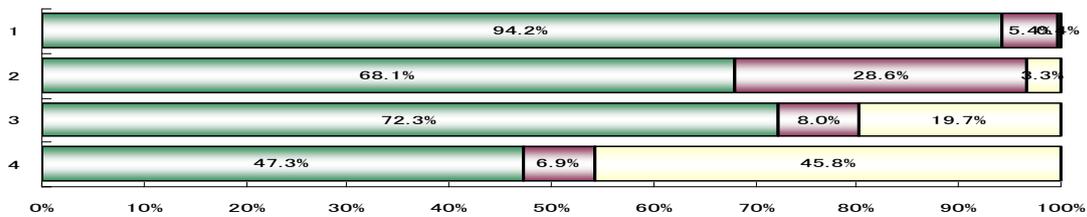
問 12 台所では、どのような省エネ活動をしていますか？

	はい	いいえ	未使用
① 食器洗い乾燥機を使用するときは、まとめて洗い温度調節をこまめに調節している。	237人 20.7%	47人 4.1%	862人 75.2%
② 洗い物をするときは、給湯器の温度を出来るだけ低くしている。	818人 67.4%	179人 14.7%	217人 17.9%
③ 冷蔵庫内の温度は、季節に合わせ温度調節したり、物を詰め込み過ぎないようにしている。	852人 69.8%	354人 29.0%	14人 1.1%
④ 冷蔵庫は、壁からの適当な間隔を空けて設置している。	1,000人 82.2%	209人 17.2%	8人 0.7%
⑤ 冷蔵庫の開閉を少なくし、開けている時間を短くしている。	1,076人 86.7%	158人 12.7%	7人 0.6%
⑥ 煮物などの下ごしらえは、電子レンジを使用している。	332人 28.0%	679人 57.3%	174人 14.7%
⑦ 電気ポットを使わないときは、コンセントからプラグを抜いている。	538人 44.7%	219人 18.2%	446人 37.1%
⑧ その他	26人		



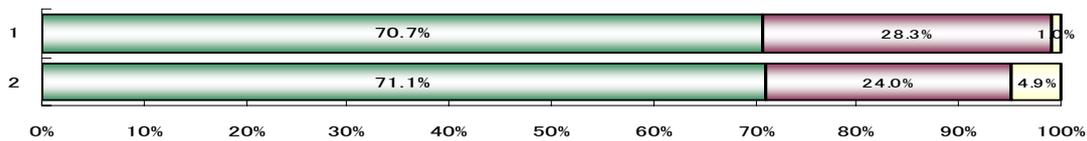
問13 浴室・洗面所では、どのような省エネ活動をしていますか？

	はい	いいえ	未使用
① 洗濯するときは、まとめて洗っている。	1,218人 94.2%	70人 5.4%	5人 0.4%
② お風呂は、間隔を開けず入り、追い炊きをしないようにしている。	817人 66.1%	343人 28.6%	40人 3.3%
③ シャワーを流しっぱなしにしないようにしている。	872人 72.3%	96人 8.0%	238人 19.7%
④ 温水洗浄機便座は、温度設定をこまめにし、使わないときはふたを閉めている。	543人 47.3%	79人 6.9%	525人 45.8%
⑤ その他	19人		



問14 その他、家庭でどのような省エネ活動をしていますか？

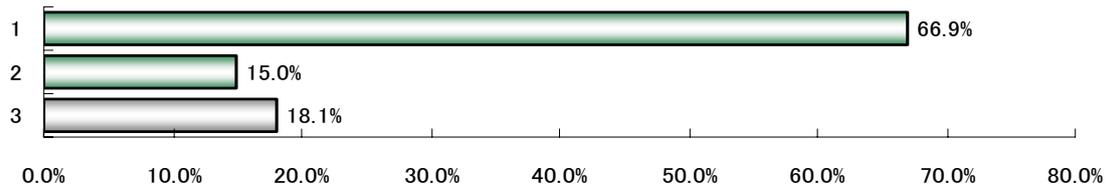
	はい	いいえ	未使用
① 電気製品を使わないときは、コンセントからプラグを抜くなど、待機消費電力を少なくしている。	890人 70.7%	356人 28.3%	13人 1.0%
② 電気、ガス、石油機器などを購入するときは、省エネタイプのもので選んでいる。	829人 71.1%	280人 24.0%	57人 4.9%
③ その他	13人		



■ 新エネルギーについて

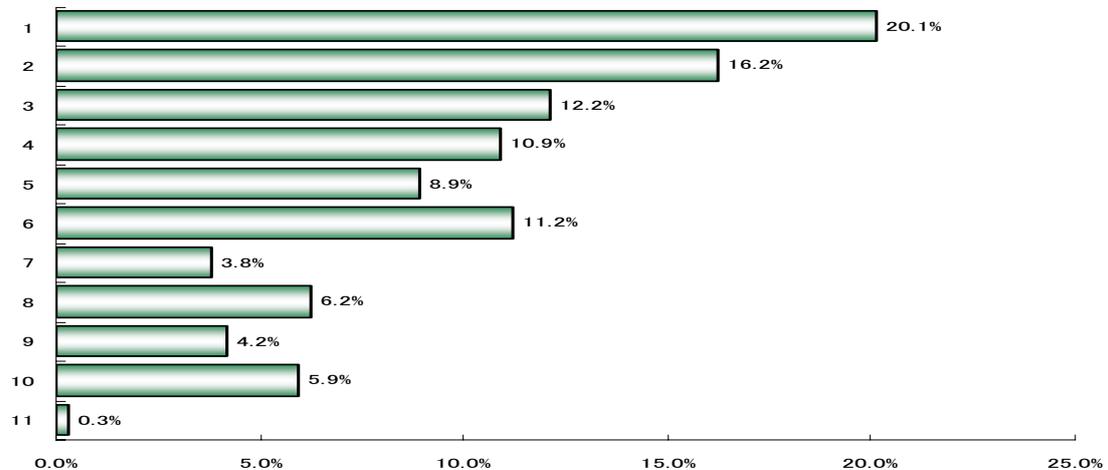
問 15 新エネルギーに関心がありますか？

① はい	990 人	66.9%
② いいえ	222 人	15.0%
③ 無回答	267 人	18.1%



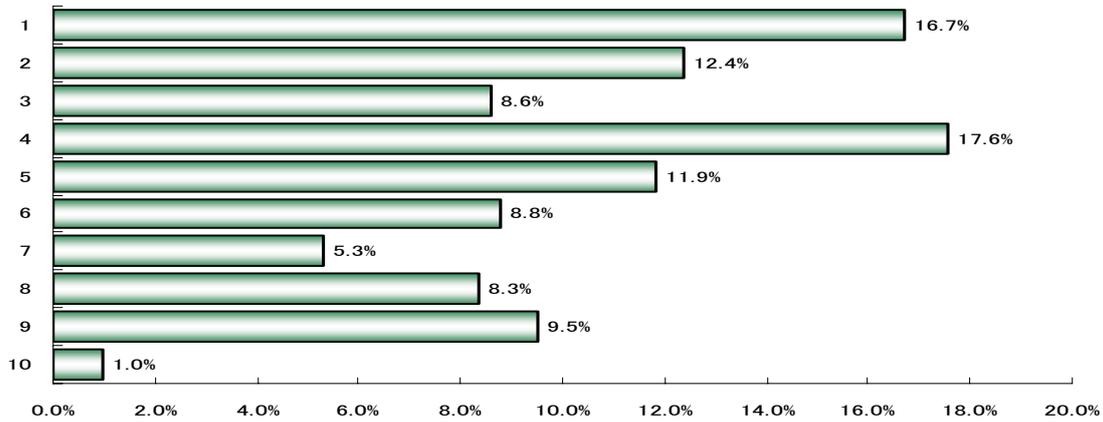
問 16 問 15 で「①はい」と答えた方に質問です。その理由はなぜですか？（複数回答）

① 新エネルギーは地球温暖化、大気汚染等に影響を与えないから	623 人	20.1%
② 石油、天然ガス等の化石燃料に限りがあり、その代替となるから	501 人	16.2%
③ 太陽光や風力エネルギーなどは尽きることがないから	376 人	12.2%
④ 将来の子供たちに貴重な贈り物になるから	337 人	10.9%
⑤ 国内で出来る自前のエネルギーだから	275 人	8.9%
⑥ 葛巻町にはエネルギーに変えられる豊富な資源があるから	347 人	11.2%
⑦ 家畜糞尿の処理に役立つから	118 人	3.8%
⑧ 森林資源の有効利用に役立つから	193 人	6.2%
⑨ 自分でも取り組めそうだから	130 人	4.2%
⑩ 農業や林業などの町づくりに役立つから	184 人	5.9%
⑪ その他	9 人	0.3%



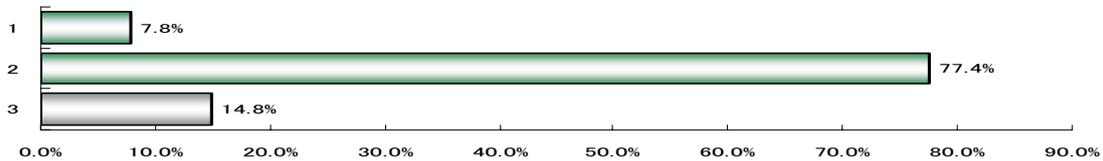
問17 今後、町で力を入れた方が良いと思う新エネルギーは何ですか？（複数回答）

① 袖山・上外川などにおける風力発電の増設・新設	422人	16.7%
② 家庭用小型風力発電の普及	313人	12.4%
③ 畜産開発公社に設置している「畜ふんバイオマスシステム」の普及	218人	8.6%
④ 家庭用太陽光発電の普及	445人	17.6%
⑤ 家庭用太陽熱利用の普及	300人	11.9%
⑥ 町内の川を利用した小水力発電	222人	8.8%
⑦ 畜産開発公社に設置されている「木質バイオマスガス化発電設備」の普及	134人	5.3%
⑧ クリーンエネルギー自動車の普及	211人	8.3%
⑨ 雪の冷熱エネルギー利用	240人	9.5%
⑩ その他	25人	1.0%



問18 あなたの家に、新エネルギー設備等がありますか？

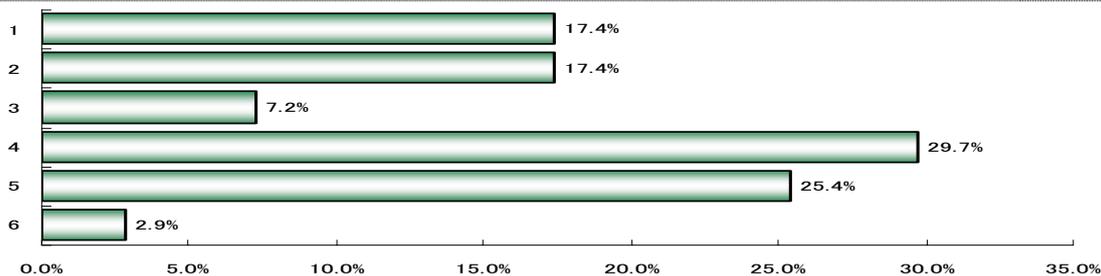
① はい	115人	7.8%
② いいえ	1,145人	77.4%
③ 無回答	267人	14.8%



問19 問18で「①はい」と答えた方に質問です。それはどのような設備ですか？（複数回答）

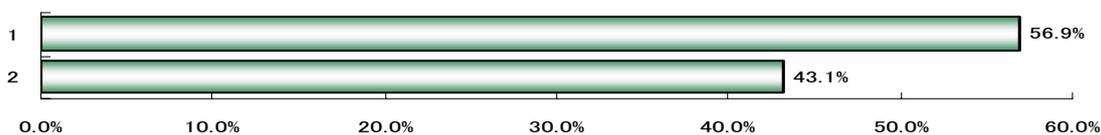
① 太陽光発電設備	24人	17.4%
② 太陽熱利用設備	24人	17.4%
③ クリーンエネルギー自動車	10人	7.2%
④ 木質バイオマス熱利用設備	41人	29.7%
⑤ 高効率エネルギー設備・省エネ給湯器	35人	25.4%

⑥ その他のエネルギー設備 4人 2.9%



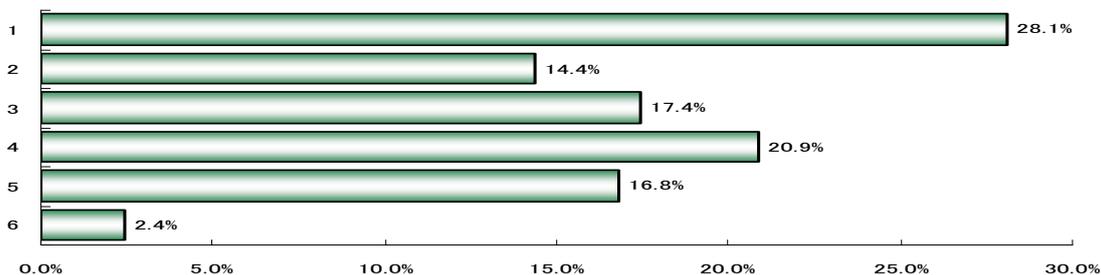
問20 問18で「①はい」と答えた方に質問です。新エネルギー設備等を導入する際、町が実施している「新エネルギー等導入事業費補助金」を活用しましたか？

① はい 58人 56.9%
 ② いいえ 44人 43.1%



問21 今後新エネルギー設備等を導入する場合、町が実施している「新エネルギー等導入事業費補助金」について、どの項目を活用したいですか？（複数回答）

① 太陽光発電設備 326人 28.1%
 ② 太陽熱利用設備 167人 14.4%
 ③ クリーンエネルギー自動車 202人 17.4%
 ④ 木質バイオマス熱利用設備 242人 20.9%
 ⑤ 高効率エネルギー設備・省エネ給湯器 195人 16.8%
 ⑥ その他のエネルギー設備 28人 2.4%



■意見等

- 畜ふんバイオマスシステム及び木質バイオマスガス化発電の発電量を町民に示すべきである。
- 畜ふんバイオマスシステム及び木質バイオマスガス化発電を普及する場合、経済効果を十分に考えるべきである。
- 新エネルギーによる町内の新産業の育成を図るべきであり単なる設備観光やPRレベルでは何の役にもたたなくなる事を考えて民間と共同でやっていくべき。
- 町の風力発電等で家庭の電気代を賄えるように取組が活発になってほしい。
- 町の大部分を占める山を利用し木を植えて育て、それをエネルギーとして使うことはとても良いこと（雇用促進や住民の定着化等含めて）。
事業所（製材所、工務店）等で出る良質の木くず等を利用できる方法はないか？公共施設の電力等、風力発電又は新エネルギーでまかなえないか？
- 町中心部の商店等に薪ストーブの設置（煙の見える町）（人が集まる場所）
- 葛巻町はエネルギーへの取組をととてもがんばっていると思います。これからも続けてください。
- 町民みんなが発電設備を出来るような補助金作りをし全世帯が導入できるようお願いしたい。
- 特に力を入れる必要性を感じない。逆に無駄なお金を使っている気がする。
- お金のかからない効率の良い設備があればいい。
- 我が家では節約の一つとして省エネに取り組んでいるが少子高齢化が進み就職口も少なく決して各世帯の所得も高いとは思われない。そもそもエネルギーを無駄に使っているわけでもない。葛巻町でエコ、省エネに何故それほど力を入れて取り組まなくてはならないのかがよく理解出来ない。未来の子供達、地球環境のためなどというグローバルな話を聞いてもピンとこない人も多いのではないか。省エネ、エコがもたらす個人レベルでのメリットをもっと明確にしたほうがいいと思う。なんとなく「エコ」を町おこしの材料にしているように思えて、つい傍観者の立場をとってしまう。
- 省エネに関心はあります。気持ちはありますが今の生活を維持していくことでギリギリの生活です。
- クリーンエネルギー自動車の導入を各事業所にも推進する。
- 葛巻町の適材資源を利用したエネルギー活用に 1. 風力資源 牧場、山、その他を調査し 2. 太陽資源 日当たり（日照時間の長い箇所）を選定 3. 水資源 水利用（井戸など）エコキュート（効率化） 4. バイオマス資源 木質メタン活用今後の将来性も？ 6. その他 小水力発電、ペレット、チップ等の活用方法なども 町内の将来有効に活用出来る資源を地形、地区ごとに選定しては？
- 葛巻町はもっと風力発電を取組み日本一の町になれる。
- 風力の電気を町民に還元してほしい。
- 本当に費用対効果があるのか疑問な部分がある。
- これからも取組を続けて下さい。がんばって下さい。
- 町としては色々取り組んでいると思うが各家庭に浸透しないのはなぜか？まだまだ課題があると思う。各家庭に浸透しないと温暖化、大気汚染は止められないと思う。
- 町長が変わって以来エネルギー政策の位置づけとかビジョンが見えなくなった気がする。町外へ

のアピールが一段落したのであれば町民の意識を高めること、なぜエネルギー政策が必要なのかを本気で伝えることが大切。本気が伝われば人は動く。自然エネルギーへの取組みが町の未来にとってとても重要であると考えている。

- 葛巻町はクリーンエネルギーを推進している町だが、もっともっと色々な推進方法でクリーンエネルギーを推進していけば良いと思う。
- 省エネにエコにまだ本気になっていないので暮らしを見直し CO2 を減らすように今年は取り組みます。強いては自分のためですからネ。
- エネルギー設備を導入すればいいのは皆わかっていることだと思うが、そこまでやれるのはある一部分であって経済的な問題等から出来ないのが現状であると思う。
- 新エネルギーについても省エネルギーについても、何もやっていないように見受けられます。私だけでなく多くの町民もそのように感じているようです。まだまだやれそうなことが沢山あります。リスクの少ない新エネルギーに取り組むできます。
- 他県の町でソーラーパネルの普及率 80%の所をテレビで見ました。葛巻町はエコの町として有名ですが、町民には特にないので、町民も喜ぶ位の取組みがほしいです。
- 省エネルギーをもっとわかりやすい説明がほしい。老人にはわからない。
- 太陽光発電はこんな田舎の場合はだめだと思います。都会みたいに雪が降らないところなら良いと思います。
- 上外川の風力発電をもっと拡大普及すべき。塚森等にも設置してほしい。住居に近いところでは低周波の影響が考えられるので山の上の草地周辺で。
- 省エネ設備を導入するにはお金がかかるため、年金生活では設備を導入したくても無理。できることしかできない。
- 生ゴミだけ集めて、これも利用出来るようになれば良いと思う。割り箸も集める日があれば良いと思う。
- 町の取組がTV等にでているのは喜ばしいが、私たち一般家庭には導入は難しく温度差を感じます。簡単に導入でき家庭に優しいと町の取組と一体感がありそうです。
- 電気代をただにする全国初の市町村として全国にアピールする。UIターンを希望する人たちにも良い宣伝となる。さらに、水道の蛇口も3つにしておいしい水、ミルク、ワインが出るようになれば(有料)
- 国レベルで法律でも作成しない限り限界があると思います。それでも理想は全家庭に現在町内で発電されているものが行き渡るか、全戸で発電したものをきちんと買取ってくれるようになれば素晴らしいです。よく視察に来るが、「葛巻の家全てが電気を売って生活して、裕福に生活しているそうですね」と言われます。確かに数百件分の電気を賄うのと同じ量と言えばその通り。単なるパフォーマンスで終わらず追求してください。
- ペレレストーブの様若い世代が購入しても高齢になったとき火の元が危なくなり使用を制限しなければならぬ不要のものとなる。何年か先を考えて省エネに取り組むようにしたほうがよいと思う。
- 時々補助額について情報を流してほしい。一番は経済的に出来ないでいる人が多いと思います。

- 全国的に先進地となっているようなので今までのように推進下さい。子供たちの教育を充実してほしいです。高齢者の人たちの家を訪問すると夕方など電気をつけず、ストーブもつけず節約している人が多く、省エネ以前の快適な生活の推進が望まれると感じます。地球規模の又、日本国考えると大賛成であるが、都会の節電をもっと訴えてほしいです。
- 「ミルクとワインとクリーンエネルギーの町くずまき」とわが郷土を誇りに思っています。町と町民が一体となってさらに運動をすすめて行きたいです。
- 太陽光発電と風力発電、地熱の推進。
- 火力発電を考えてみては。
- 補助金をいただけるのは大変助かります。続けてほしいものです。
- 新エネ設備の導入予定はありませんが、取り組める人はどんどん進めてよいと思います。
- 家庭での風力発電、太陽光発電に関心があります
- 経済的に余裕がありません。新エネルギー、クリーンエネルギーは重要だと思いますが、町民全てがそれを利用できる状況にあるわけでは無いと思います。雇用の安定など、もっと力を入れて取り組むべきことがあると思います。
- 補助金の充実を。
- よくテレビでクリーンエネルギーを利用して自給率 100%以上という事を言っていますが、その電力を町民の家庭で使用しているわけではないので、その実感がない。100%以上なら他に売らないで町民に利用させて頂きたいのに、と思います。
- 新エネ補助金について、詳しく広報活動をしてわかりやすく皆さんに伝えて欲しい。
- クリーンエネルギーの町として全国に発信しているので、これからも全国のモデルとなるように取り組みすることを望む。
- 省エネルギー等、エコは今みなさん関心を持って家庭でそれなりに取り組んでいると思います。町での取り組みについては、あまり詳しくわからないため、時々チラシなど何かの方法で知らせてくださればより関心も高まり良くなると思います。
- 補助金の拡大と申請しやすい環境づくり
- 電気代がただになれば、この町に本当に住んで良かったと思います。国の政策で電力をもっと高く買ってもらえたら良いと思う。
- 風力発電、太陽光発電の増設もさることながら、小水力発電についても考えるべきと思う。
- 太陽光発電、エコキュート、ハイブリット自動車など、今年までに設置されている住宅件数、設置状況等を広報で紹介してください。

葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 本町は、平成15年度に「葛巻町省エネルギービジョン」を策定して以来、エネルギー需給の相乗的な効果を実現し、町民や事業者、行政が一体となった活動の推進、くずまき型省エネルギーの創造を図ってきた。

「葛巻町省エネルギービジョン」に掲げる前期推進期間の終了に伴い、これまでの5年間の取り組みを評価し、より一層の省エネルギー活動推進に向けた後期推進計画を策定するための所要の調査、検討を行う機関として「葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画策定委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画の策定に関する所要の調査、検討及び調整に関することを行う。

(委員)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員で組織する。

2 委員は、関係機関、団体及びエネルギー利用者のうちから町長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は委員会を総括し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、必要に応じて町長が召集する。

(任期)

第6条 委員の任期は、平成22年1月21日から平成22年3月31日までとする。

(事務局)

第7条 委員会の事務を処理するため、農林環境エネルギー課内に事務局を置く。

2 事務局に事務局長を置く。事務局長は、農林環境エネルギー課長をもってあてる。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年1月20日から施行する。

葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画策定委員名簿

NO	団 体 名	職 名	氏 名	備 考
1	くずまき環境パートナーシップ	代 表	向川原 孝	
2	(社)葛巻町畜産開発公社	ふれあい 交流室長	木 村 元 思	第3セクター
3	葛巻町自治会連合会	会 長	吉 澤 春 雄	
4	五日市小学校	校 長	星 貴 子	
5	葛巻町消費生活相談員		橘 陽 子	新岩手農業協同組合 女性部葛巻中央支部
6	有限会社シダ	取 締 役	志 田 一 将	

事 務 局

NO	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	農林環境エネルギー課	課 長	荒 谷 重	
2	農林環境エネルギー課	室 長	丹 内 勉	
3	農林環境エネルギー課	係 長	入 月 静 子	
4	農林環境エネルギー課	主任主事	日 向 信 二	

葛巻町省エネルギービジョン後期推進計画

◆発行・編集 葛巻町役場 農林環境エネルギー課

〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 16-1-1

TEL 0195-66-2111 (内線 144) / FAX 0195-66-4329

<http://www.town.kuzumaki.iwate.jp>